

北海道浮魚ニュース

平成 15(2003)年度 19号 (通巻 No.161)

2003年 9月 24日

北海道立水産試験場

平成 15 年度オホーツク海サンマ漁況見通し

北海道立釧路水産試験場・網走水産試験場・稚内水産試験場および独立行政法人水産総合研究センター東北区水産研究所・北海道区水産研究所が協議を行い、9月19日に「平成15年度オホーツク海サンマ漁況見通し」を発表しましたのでお知らせします。

【漁況見通し】

来遊資源量：昨年並で少ない

太平洋海域の中型・小型魚の分布量は昨年より少ないと推定された。

魚体組成：小型魚が主体

漁期前の漁獲調査では、主に小型魚とジャミが漁獲された。

魚体説明：特大魚（体長 32cm 以上）、大型魚（体長 29-31cm 台）、中型魚（24-28cm 台）
小型魚（20-23cm 台）、ジャミ（20cm 未満）

1. オホーツク海で漁獲されるサンマの回遊（予備知識）

例年オホーツク海で漁獲対象となる魚群は中型・小型魚が主体で、この群は南部千島太平洋側へ接岸したものの一部が、7月から8月にオホーツク海へ移動・回遊するものと考えられます（図1）。したがって、7月から8月に太平洋海域に分布する中型・小型魚の分布量が多く、なおかつ南部千島海域の表面水温がサンマの移動・回遊に適していれば、オホーツク海への来遊資源量は多くなると考えられます。オホーツク海に回遊したサンマは、8月から9月頃はオホーツク海の中南部海域に広く分布しますが、9月以降に海水温の低下にともなって、比較的水温が高い（10℃以上）北海道沿岸域へと移動し、そこで漁場が形成されます（図1）。

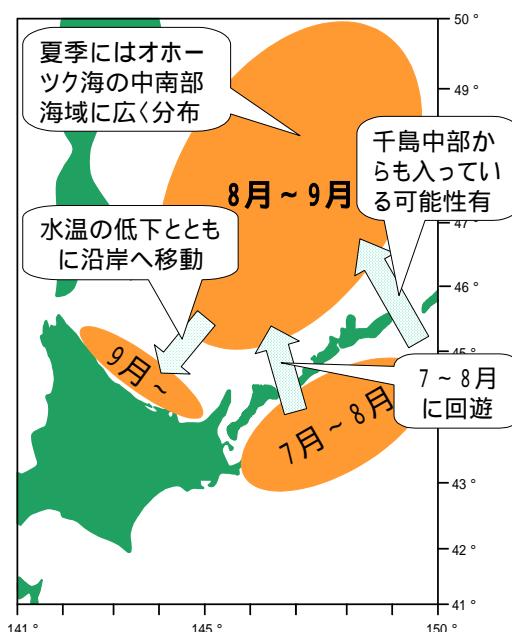


図1 オホーツク海で漁獲されるサンマの回遊想定図

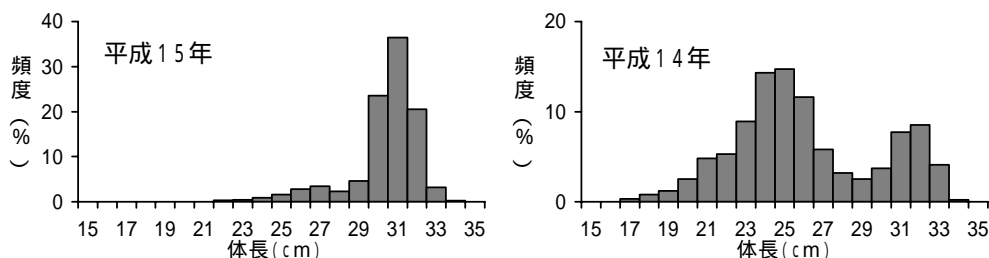
2. 来遊資源量

東北区水産研究所が今年の漁期前（6月から7月）に実施したトロール調査結果から、東経162度以西の太平洋海域における中型・小型魚の分布尾数は、昨年（85.4億尾）、一昨年（74.5億尾）を下回る53.1億尾と推定されました。また、8月に道東太平洋海域で実施した漁獲調査の結果、中型・小型魚が漁獲物に占める割合は全体の約12%と低かったため（図2）、今年の太平洋海域における中型・小型魚の資源量は、昨年よりかなり少ないと推測されました。

南千島海域の表面水温が高い時には、サンマがオホーツク海へ回遊する条件が良好であると考えられます。今年の7月中旬から8月下旬の南千島海域は、サンマの回遊に適すると考えられる水温10以上の水に広く覆われていたので、今年の**太平洋からオホーツク海へ回遊する海況条件は比較的良好であった**と考えられます。

9/8～9/12にオホーツク海域で実施した漁期前調査の結果、調査海域の表面水温は15前後(13.6～18.4)とサンマの分布に適した水温帯でしたが、サンマの魚群はほとんど見られませんでした。

以上のことから、オホーツク海へ回遊する海況条件は良好と考えられるものの、太平洋海域の中型・小型魚の資源量は少ないと推定されるため、**今年オホーツク海へ来遊するサンマの資源量は、昨年と同様に少ない**と考えられます。



釧路水試とJA FIC資料、千葉水試千葉丸・房総丸資料、茨城水試水戸丸資料より作成

図2 8月に道東太平洋海域で調査船などが漁獲したサンマの体長組成

3. 魚体組成

9/8～9/12にオホーツク海域で実施した漁期前調査の結果、漁獲されたサンマの魚体は、主に小型魚(20-23cm台)およびジャミ(20cm未満)でした(図3)。ジャミサンマは漁獲対象にならないことから、今年のサンマの魚体は小型魚が中心になると考えられます。

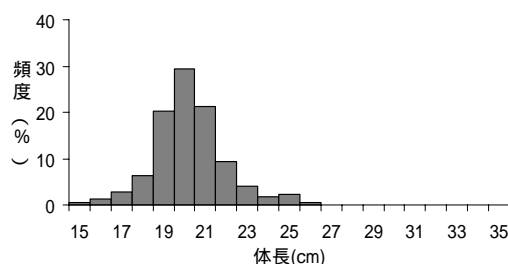


図3 オホーツク海で調査船が採集したサンマの体長組成

4. 漁場形成

「2. 来遊資源量」で示したように、漁期前調査を実施した9/8～9/12のオホーツク海(雄武～ウトロ沖合)には、サンマの分布に適した水温域が広がっていました。また、調査時には沿岸寄りでサンマの分布を確認しましたが、分布量そのものは少なかった。

以上のことから、サンマ魚群の一部はすでに沿岸域へ来遊していると考えられます。しかし、来遊資源量は少ないと予想されるため、まとまった魚群が見られなければ出漁が控えられ、漁場がほとんど形成されない可能性があります。

5. その他

オホーツク海で操業する棒受網船の多くは太平洋から回航してくるため、来遊資源量が十分ならば、漁獲量はこの回航隻数と操業期間に左右されます。また、9月中・下旬の道東太平洋の漁況が良好である年はそこで操業を続けるため、オホーツク海への回航隻数は少なくなります。そのため、この時期の道東太平洋の漁況がオホーツク海の漁獲量を決定する主要因の一つになっています。今年9月中旬の道東海域の漁況は良好であるため、オホーツク海へ回航する漁船は少ないと予想されます。

(文責：釧路水産試験場 資源管理部，TEL:0154-23-6222，FAX:0154-23-6225)